

春告草

第59号 平成29年5月2日 進路指導部発行

いきたい学部・学科はいつ決まる？いつ決める？

本校生徒のほとんどは大学に進学する。表1は卒業生の進路状況だが、その多くが現役で大学に進学していく。昔は大学入学者の半数は浪人生で、「一浪」と書いて「ひとなみ」と読んだ時期もあったが、今では受験人口の減少もあり、現役進学率は高くなってきた。本校卒業生の大学進学率も8割前後と高水準である。

大学へ行くのが当たり前の時代になったが、中には大学へ進学する意義も考えないまま、入学する人もいることだろう。幸いなことに本校では卒業までにステーション論文を3本書き上げることになっているので、完成していく中で、大学進学の意味などを見つける人は多いことと思う。中には周りの友達が行くので自分も…という人もいるかも知れないが、それはそれで構わないだろう。大学へ行けばもっと多くの人と関わられる機会が増えるし、「こいつには適わないなあ…」という人物に出会えるチャンスも広がる。そんな経験が自分をさらに大きく成長させてくれることだろう。大いに刺激を求めて、自分を成長させてくれる大学へ進学していったらいい。

さて、大学と言え、進みたい学問系統、学部・学科を決めなければいけない。そこで今回は、進路決定、進路選択の時期について考えていこう。

学部・学科はいつ決める？いつ決めた？

表2は3月に行ったスタディサポートの学習状況調査における「進みたい分野」についての回答である。学年別の集計数値(%)であるが、現在の学年にそれぞれ進級する直前の調査である。4年生については3年時に行った調査結果であるから、「大学には行きたいが、進路は未定である」が学年全体の4分の1を占めているのも、ある意味当然の結果とみている。5年生、6年生の調査結果も隣に並べたが、同じ集団の時系列データではないので、推移についてはみないでおこう。ただし、4年時には定まっていなかった進路目標が、学年進行に従って少しずつ明確化されていく傾向はある。

図1は、1期生、2期生が同様にを行った調査を合わせてグラフ表示したものであるが、学年進行に従って、進路未定が減っていく様子が見えるだろう。また、法・経済・商・社会系統の増加割合が顕著であることも分かる。これは社会科学系統の学部を設置している大学が多いことに加え、成長と共にこういった分野への興味、関心の高まりも影響しているのだろう。

表1 卒業生の進路状況

進路区分	2期生			1期生		
	男	女	計	男	女	計
卒業生総数	70	82	152	84	68	152
大学	52	73	125	60	60	120
短大	0	0	0	0	0	0
専修学校	0	2	2	1	1	2
就職	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	1	0	0	0
計	52	76	128	61	61	122
進学準備	18	6	24	23	7	30
進路決定率	74%	93%	84%	73%	90%	80%

表2 興味のある学部系統 (%)

分野	4年生	5年生	6年生
理・工・情報系	19.6	21.4	15.9
医・歯・薬系	5.1	6.5	5.3
農・水産・獣医畜産系	3.2	3.9	5.3
文・語学系	7.0	11.0	11.3
教育系	8.9	7.1	6.6
法・経済・商・社会系	17.7	18.8	25.2
体育・芸術系	3.2	1.9	7.3
医療看護・福祉系	1.3	3.9	6.6
人間・国際・総合などの学際系	7.0	5.8	11.9
家政・生活科学系	0	2.6	1.3
進学希望だが内容は未定	24.1	15.6	2.6
その他	3.1	1.3	0.7

志望校決定は理系が早い

円グラフは、旺文社提供のデータであるが、「志望校決定」についてのアンケート結果である。

図2は「大学進学を決めた理由」についての集計結果。取り組んでみたい学問が見つかったとする理由が最多であることに安心したが、「周りのみんながそうしていたから」も全体の4分の1近くを占める。もし、みなさんの中で大学進学の原因が仮に明確でなかったとしても、自分の背中を押してくれる要素として前向きに捉えてみてはどうだろう。肝心なのは、そのきっかけから自分の進むべき道をどう組み立てていくかということだ。

図3は「志望校を決めた時期」についての集計(%)である。高2までに半数以上の人々が志望校を決めている。文理別の集計では、文系に比べて理系の人のほうがこの時期までに志望校を決めている割合は断然多いことが分かるが、図1の社会科学系統のグラフの伸びの理由と重なる部分がある。理系の生徒からは早い時期から「医師に就きたい」「食糧問題の解決に貢献したい」など、早いうちから自分の将来を決めているというレポートもあり、文系・理系での志望校決定のタイミングの差によって現れているようだ。

本校では、先日6年生に「第一志望校宣言」を提出させた。

図1 進路希望推移(卒業生集計)

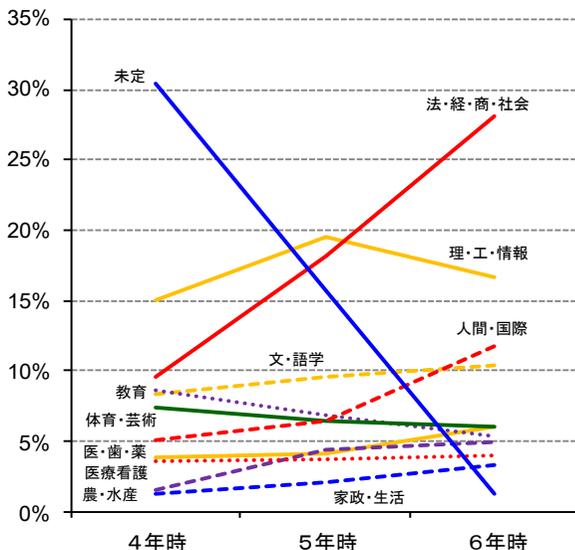


図2 大学進学の原因

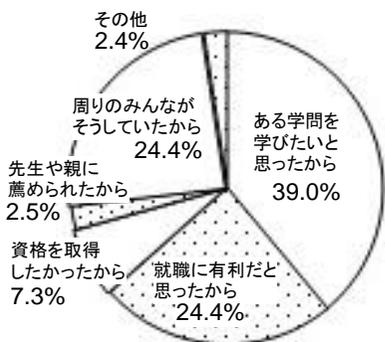
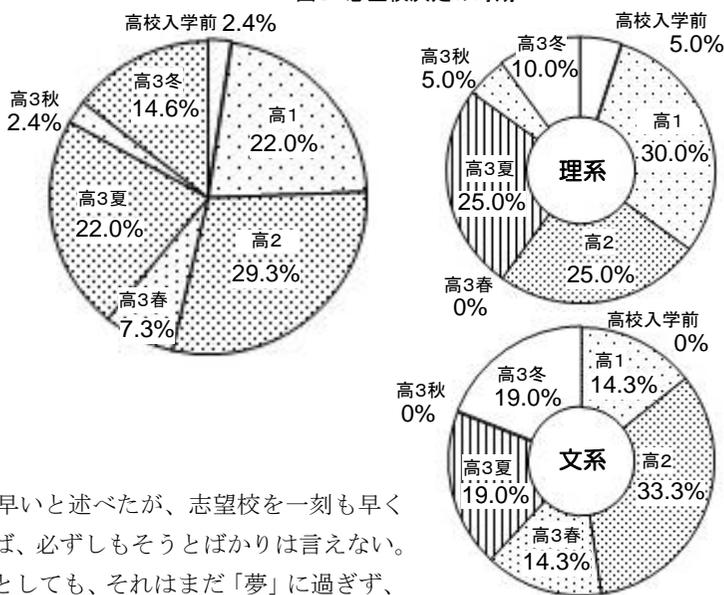


図3 志望校決定の時期



進学イベントに参加しよう！

理系志望の人の方が志望校決定の時期が早いと述べたが、志望校を一刻も早く決めることが良い結果につながる可言えば、必ずしもそうとばかりは言えない。自分の未来像をいかにはっきり決めていたとしても、それはまだ「夢」に過ぎず、それが本当に自分に合っているかどうかは、本人にも分からないものだ。

そういった意味で、進路選択と自分の適性にミスマッチが起きないように、機会あるごとに大学説明会などの進学イベントには積極的に参加してもらいたい。春告草の紙面でも随時、情報は発信していくが、進路資料室前の掲示板にも各種イベントのポスターを掲示してある。興味のある企画があったら是非、参加してください。

校内でも、学部・学科説明会、大学模擬講義などを行っています。また、今月13日には6年生対象に「在卒懇」を行います。卒業生から自らの受験経験や入学した大学の様子を後輩たちに話してもらいます。

また、4年生、5年生には夏休み中のオープンキャンパス参加を課題としています。

大学入試の基礎知識（3）



春告草56号では大学への入学方法について説明しました。今回は、大学入試センター試験について学習しましょう。

センター試験は「大学入試センター試験」といって、大学受験生の約8割が受験します。大学入試はセンター試験を中心に展開していると言っても過言ではなく、本校の生徒もほとんど全員が受験します。国公立大学志願者は受験が義務付けられています。私立大も約9割が「センター利用入試」として利用しています。

今年は、575,967人が志願し、547,892人が受験しました。

センター試験の役割、日程や出題形式について解説しましょう。

センター試験の役割と日程

センター試験の目的の一つは、高校での学習の到達度をみることで、これを合否判定に利用する大学が大学入試センターと協力して、毎年行われています。

センター試験の詳細をまとめた「受験案内」（出願書類）は、9月上旬から配付が始まります。本校では6年生全員に配付しています。浪人生は近隣の国公立大学やセンター試験に参加する私立大学の窓口などで入手することもできます。4年生、5年生で必要人は各自で入手しても良いでしょう。

現役生は、出願手続きや受験票の受け取りなどはすべて在籍校を経由して行います。本校では、出願前に出願票の書き方や受験料の振り込み手続きなどについて、6年生全体に説明を行っています。

現役生は在籍校毎に試験会場が割り当てられますが、理科の選択パターン別に試験会場が指定されます。今年は、一橋大学、東京学芸大学、東京経済大学、津田塾大学、明治薬科大学が本校生徒の試験会場に使用されました。

本試験を病気などの理由で欠席した人に対しては「追試験」の機会が与えられます。

理科は4パターンから1つ選択

国公立大学を受験する場合はセンター試験で6(5)教科7科目または8科目受験が基本になります。

文系であれば、国語、地歴・公民から2科目、数学①、数学②、理科①、英語の6教科8科目受験、

理系であれば、国語、地歴・公民から1科目、数学①、数学②、理科②から2科目、英語の5教科7科目受験が基本パターンになります。文系受験生が8科目受験になるのは、理科①は2科目受験が必須であることによります。

受験科目は出願時に登録しますが、理科は科目選択方法が複雑なので注意が必要です。

理科は、基礎を付した科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎）を①グループ、基礎を付していない科目（物理、化学、生物、地学）を②グループとし、A～Dの4つの選択方法から1つを選んで、出願時に登録します。基礎科目は解答時間60分で、必ず2科目受験しなければいけません。解答の順序や時間配分は受験



今年度のセンター試験「受験案内」出願票の他受験料の振込票などが一式セットされている。

2017年	
9月上旬～	受験案内配付
9月上旬～ 10月上旬頃	検定料等払込み
9月末～ 10月上旬頃	出願期間
10月末頃までに到着	確認はがき受領 (登録内容の確認)
12月中旬までに到着 (登録内容の再確認)	受験票等受領 (受験票/写真票/成績請求票/ 受験上の注意)
2018年	
1/13(土)・14(日)	本試験実施 正解等の発表
1/17(水)頃	平均点などの中間発表
1/19(金)予定	得点調整実施の 有無発表
1/20(土)・21(日)	追(再)試験実施
2月上旬予定	平均点等の最終発表
4月中旬頃	成績通知書の受領 (出願時に希望した者のみ)

生に任されています。A～Dのどれで受験するかを決めるためには、出願時までには志望校をある程度決定し、理科の科目選択方法をチェックしておかなければいけません。選択方法Cで受験できる大学では、同一名称を含む科目の組み合わせ（「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」など）の可否が定められている場合があるので、気をつけなければいけません。

文系・理系の理科の選択パターン

各大学のセンター試験「理科」の科目指定を見ると、国公立大学・文系学部はAまたはB、国公立大学・理系学部はDが多いようです。ただし、公立大学の理系学部は国立大に比べて科目軽量化の傾向が強くなり、AまたはBを利用するところもあります。

一方、私立大の文系学部で理科受験が必要な方式では、A～Dのいずれでも受験可能なところが多く、理系学部はBが多くなっています。

出題形式と難易レベル

センター試験は受験者が50万人を超える大規模試験であり、受験した10日後には国公立大学への出願が始まります。また私立大のセンター利用入試の合格発表も早いところでは1か月後には合格発表が始まります。この為、試験はすべてマーク式で行われます。

問題のレベルは、前述したように高校での学習の到達度を測定するための試験ですから、平均点が60点となるように問題作成されています。表に今年度と昨年度のセンター試験の平均点をまとめてあります。

目標得点率は8割強

平均点が60点となるよう問題作成されていると言っても、年により難易レベルにバラつきは出ます。今年は国語の平均点が昨年に比べて20点以上もダウンし、受験生にとっては厳しい年になった。「国語ショック」の影響は文系の人には勿論だが、理系の人にはそれ以上に強くダメージを負わせたようだ。逆のパターンもあるだろうから、文理に関係なくバランスのとれた準備、勉強が必要となります。

今年はそんな状況の中でも力のある人はしっかり得点を稼いだ。早稲田にもセンター利用で合格した人が多数出たが、得点率は9割以上だった。MARCHをセンター試験で突破するには8割後半の得点率が求められる。

高い得点率をマークするためには小手先の準備では、ダメだろう。まずはしっかりと基礎を固めることだ。地道な努力も必要。少しの積み重ねが大きな力になるはずだ。時間を無駄にせず、きちんと取り組もう。

●2018年度大学入試センター試験出題教科・科目

教科	出題科目	試験時間(配点)
国語	「国語」	80分(200点)
地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」 「世界史A」 「日本史A」 「地理A」	1科目選択 60分(100点)
		2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)
公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	
数学	① 「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅰ」	60分(100点)
	② 「数学Ⅱ・数学B」 「数学Ⅱ」	60分(100点)
理科	① 「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	【理科①】 2科目選択 60分(100点)
	② 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	【理科②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)
外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	【筆記】 80分(200点) 【リスニング】(「英語」のみ) 60分(うち解答時間30分) (50点)

センター試験理科の科目選択方法

	理科①	理科②	科目選択方法
科目	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	物理 化学 生物 地学	A:理科①から2科目 B:理科②から1科目 C:理科①から2科目& 理科②から1科目 D:理科②から2科目

センター試験理科の科目選択は上記のA～Dの4パターン
基礎科目1科目だけの選択は不可

センター試験平均点

教科・科目		2016年度	2017年度	差
国語	国語	129.4	107.0	-22.4
地理歴史	世界史B	67.3	65.4	-1.9
	日本史B	65.6	59.3	-6.3
	地理B	60.1	62.3	+2.2
公民	現代社会	54.5	57.4	+2.9
	倫理	51.8	54.7	+2.9
	政治・経済	60.0	63.0	+3.0
	倫理、政経	60.5	66.6	+6.1
数学①	数Ⅰ・数A	55.3	61.1	+5.8
数学②	数Ⅱ・数B	47.9	52.1	+4.2
理科①	物理基礎	34.4	29.7	-4.7
	化学基礎	26.8	28.6	+1.8
	生物基礎	27.6	39.5	+11.9
	地学基礎	33.9	32.5	-1.4
理科②	物理	61.7	62.9	+1.2
	化学	54.5	51.9	-2.6
	生物	63.6	69.0	+5.4
	地学	38.6	53.8	+25.2
外国語	英語筆記	112.4	123.7	+11.3
	英語リスニング	30.8	28.1	-2.7